

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度 第 5 回 歯学教育 FD/IT 活用研究委員会

- I. 日 時:2010 年 2 月 25 日(木) 午後 4 時～午後 7 時
- II. 場 所:私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者:神原委員長、岡本委員、藤井アドバイザー、森實アドバイザー
井端事務局長、森下主幹、恩田

配布資料

1. 歯科医学教育の情報教育(平成 22 年 2 月 25 日)
2. 各委員作成のヨーロッパにおけるコンピテンシーのレポートの書式を統一したまとめ
3. 参考資料:歯科医学教育の情報教育(平成 21 年 12 月 21 日作成部分)

検討事項

1. 本日の記録担当
2. 委員長より経過報告。
本委員会で検討している「ヨーロッパ、アメリカおよび日本における歯科医師のコンピテンシー」をまとめ、第 29 回日本歯学医学教育学会総会・学術大会(7 月 23～24 日、岩手医科大学)で口演、あるいはポスター形式で発表したい。何らかの雑誌に投稿、および私立大学情報教育協会ホームページ上で公開することを目標とする。
3. 分野別教育における情報教育の検討について
 - 1) 委員長および各委員が作成した配布資料1、すなわち前回設定した3項目の「到達目標、到達度、教育内容・教育方法および到達度確認の測定手段」について再検討した。また、アドバイザーより、到達目標(GIO)および到達度(SBOs)に関する表記方法について補足説明があった。
検討の結果、以下の3項目に集約できた。
到達目標1;情報通信技術(ICT)を用いて、歯科医療に必要な情報を適正・適切に収集・整理できる。
到達目標 2;EBM(エビデンス・ベースド・メディスン)を実践するために、収集した医療情報を分析し、課題の実証・問題の発見に役立てることができる。
到達目標3;医療に関わる ICT の概要を理解し、歯科医療への利用を考えることができる。
本検討結果は事務局よりメールにて各委員に配布・再検討し、3月15日迄に完成させる。
4. ヨーロッパにおけるコンピテンシーのレポートの書式を統一したまとめの完成について

まだ完成されていない部分があるので、再度各委員担当部分の空白部分の完成をお願いします。

5. 今後の活動について

来年度は、4月以降に歯学の情報教育をサイバーFD 研究員に配信し、アンケートを実施する。その後、6月に委員会を開催し、アンケート結果を報告した後、意見を反映する予定である。

歯科医学教育の情報教育

到達目標1

情報通信技術 (ICT) を用いて、歯科医療に必要な情報を適正・適切に収集・整理できる。

到達度

- ① 歯科医療に関する情報の所在・構成・背景を説明できる。
- ② 医療情報や健康情報の信頼性を識別できる。
- ③ 情報の剽窃等に関する倫理を身につけている。
→(変更案) 情報倫理と情報セキュリティーの基本を身につけている。
- ④ 情報検索とソフトウェア(ワープロ、表計算、プレゼンテーション)等の基本的な情報処理ができる。

教育内容・教育方法

- ①は、歯科医療情報について、範囲、種類、データサイト等の状況を理解させるために、実際にアクセスさせ、ケーススタディの中で体験させる。
- ②は、多様なメディアから提供される情報の正当性を文献検索、成書により判断させる。
- ③は、情報セキュリティーや情報の無断使用、盗用について事例をもとに解説し、内心に働きかけて、加害防止・被害防止できるようにさせる。
- ④は、課題に対して得られた情報を、ソフトウェアを用いてまとめ、表現させる。

到達度確認の測定手段

- ①と②は、実習を通じて収集した情報の検索先、情報量等により、情報収集力の適切性を確認する。
- ③は、事例研究を通じて、レポート、口頭試問等により確認する。
- ④は、演習を通じて、発表資料の工夫、発表方法等により確認する。

到達目標2

EBM(エビデンス・ベースド・メディシン)を実践するために、収集した医療情報を分析し、課

題の実証・問題の発見に役立てることができる。

到達度

- ① EBM の重要性を理解している。
- ② 目的に沿って医療関連データを収集し、比較・分析できる。
- ③ 比較・分析結果について、問題点を抽出し、批判的に捉えることができる。

教育内容・教育方法

- ①は、適切な臨床研究データに基づいて、科学的な視点から診療臨床判断させる。
- ②と③は、診療ガイドライン、システマティックレビュー(メタアナリシス)、ランダム化比較試験(RCT)、その他の臨床研究を図書館医療情報検索システム(MEDLINE 等)を通じて検索させ、批判的吟味を行わせる。

到達度の測定方法

- ①～③は、クリニカルクエスチョンに対する回答をエビデンスとともに提出させ、確認する。

到達目標3

医療に関わる ICT の概要を理解し、歯科医療への利用を考えることができる。

到達度

- ① 医療に関わる ICT の仕組み(関連法規を含む)、機能を理解できる。
- ② 医療情報システム(電子カルテ)の取り扱いができる。
- ③ 医療における個人情報保護の重要性を認識し、管理することができる。
- ④ 医療情報についてネット上(テレビ会議等)でコミュニケーションし、情報の共有を通じて、臨床判断の多様性を知ることができる。

教育内容・教育方法

- ①は、講義で、ICT の現場情報をフィールドワークさせ、基本的な仕組みを理解させる。
- ②は、クリニカルクラークシップで電子カルテ操作実習を行う。
- ③は、講義、事例研究で病院における情報管理と個人情報保護について教え、実践させる。
- ④は、グループ学習の中で、課題症例に対する PBL を行わせる。

到達度の測定方法

- ①～④は、小テスト、口頭試問、レポート、プレゼンテーション、実技試験等により確認する。

以上